

# 浦舟だより

令和2（2020）年 1月 10日

第 9 号（第246号）

横浜市立浦舟特別支援学校  
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp

## 令和2年になりました

校長 長岡 利保

新年 明けまして おめでとうございます。元旦から穏やかな日が続き、気持ちの良い冬休みだったのではないのでしょうか。本年もよろしくお願いいいたします。

今年<sup>ね</sup>は『子』（ねずみ）年です。干支の中で1番目に数えられる動物であり、次に牛（うし）、寅（とら）へと続きます。私も、今年こそはネズミのように、スピード感を持って精力的にやっっていこうと思っております。



さあ、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年となりました。神奈川や横浜も、会場となります。世界の一流アスリートたちが集合する大会です。昨年のラグビーワールドカップのような、心が揺り動かされるような感動があることでしょう。

ラグビーに関連して、先月、私が気になったのは『2019年 流行語大賞』でした。大賞は『ONE TEAM』（ワンチーム）。これが大賞だったらいいなと密かに思っていたのでうれしかったです。その他のランキングをみると、「ああ、そんなことあったなあ」という感じで振り返ったり、いまだに理解できないワードだったりしました。特別賞はイチロー選手の『後悔などあろうはずがありません。』でした。私たちも、こんな言葉が言えるような日々を積み重ねていけるといいですね。

また、昨年、ある研修会で講師の方が「みなさんは20年後、どんな方法で音楽を聴いていると思いますか。」と質問されました。想像もできないような時代となり、科学が進歩していても、変わらないものがある、いつの時代でも次の4つが大事である、とおっしゃっていました。

その4つとは・・・

- ① 誰とでもコミュニケーションがとれる（誰にでもあいさつできる）
- ② 少しぐらいのことではへこたれない（なにくそ！と踏ん張れる）
- ③ 自分で目標が決められる（保護者や先生に言われなくても自分で決められる）
- ④ 必要なことを学ぶ習慣がある（分からないことを調べる癖をつける）

どれも心にとどめておきたいと思いました。





## クリスマス会 ～センター院内学級～

12月18日、小児科病棟でクリスマス会が行われました。会に向けて、みんなでクリスマスに関係のあるものを紙などで作り、大きな台紙に貼って、かわいらしい立派な看板ができました。当日は、サンタさんとトナカイさんがプレゼントを持ってきてくれました。

後日、学級でもお楽しみ会をして年末を楽しく過ごしました。



## オリジナル年賀状 ～福浦院内学級～



図工でスチレン版画のスタンプを作り、そのスタンプを使って年賀状を作りました。今年の干支『子』も、しっかりデザインに取り入れました。印刷とは異なり、スタンプの色やスタンプを押す強さによって、一枚一枚少しずつ違い、同じものは一枚もありません。手作りならではのぬくもりを感じる素敵な年賀状ができました。

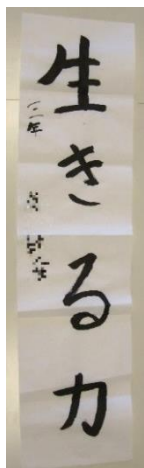


## お正月を写そう ～みなと院内学級～

新年に向け、<sup>はこいた</sup>羽子板絵付け、書写に取り組みました。

絵付けでは、水の量、凹凸、乾き具合など、慣れない絵筆で板へ描くことの難しさをひとつひとつ経験しながら、イメージに近い形で仕上げることができました。

書写は丸1日かけ、半紙、半切の2種類に挑戦し、のびのびと書くことができました。



## 1月の予定

7日(火) 全校朝会

13日(月) 成人の日



24日(金) 短縮授業(福浦・市民・みなと)

29日(水) 節分の会(センター)

2月3日(月) 全校朝会

